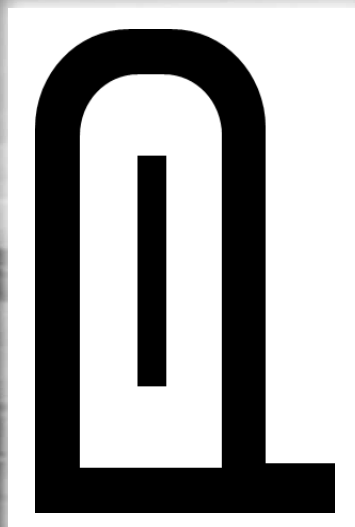


過去の災害で学ぶ 「自然災害伝承碑」

『自然災害伝承碑』 地図記号



自然災害の被災地の中には、
昔の被害を今に伝える石碑がある。
それは、後世に二度と同じ思いをさせまいと
残した、先人たちのメッセージ。



自然災害伝承碑紹介サイト

※自然災害伝承碑とは、過去に起きた自然災害の規模や被害の情報を伝える石碑やモニュメントです。

※地図への掲載は、市町村からの申請が必要です。情報をお寄せください。

自然災害伝承碑

出典:大阪府警察



地理院地図
表示アイコン



地理院地図（自然災害伝承碑を表示）

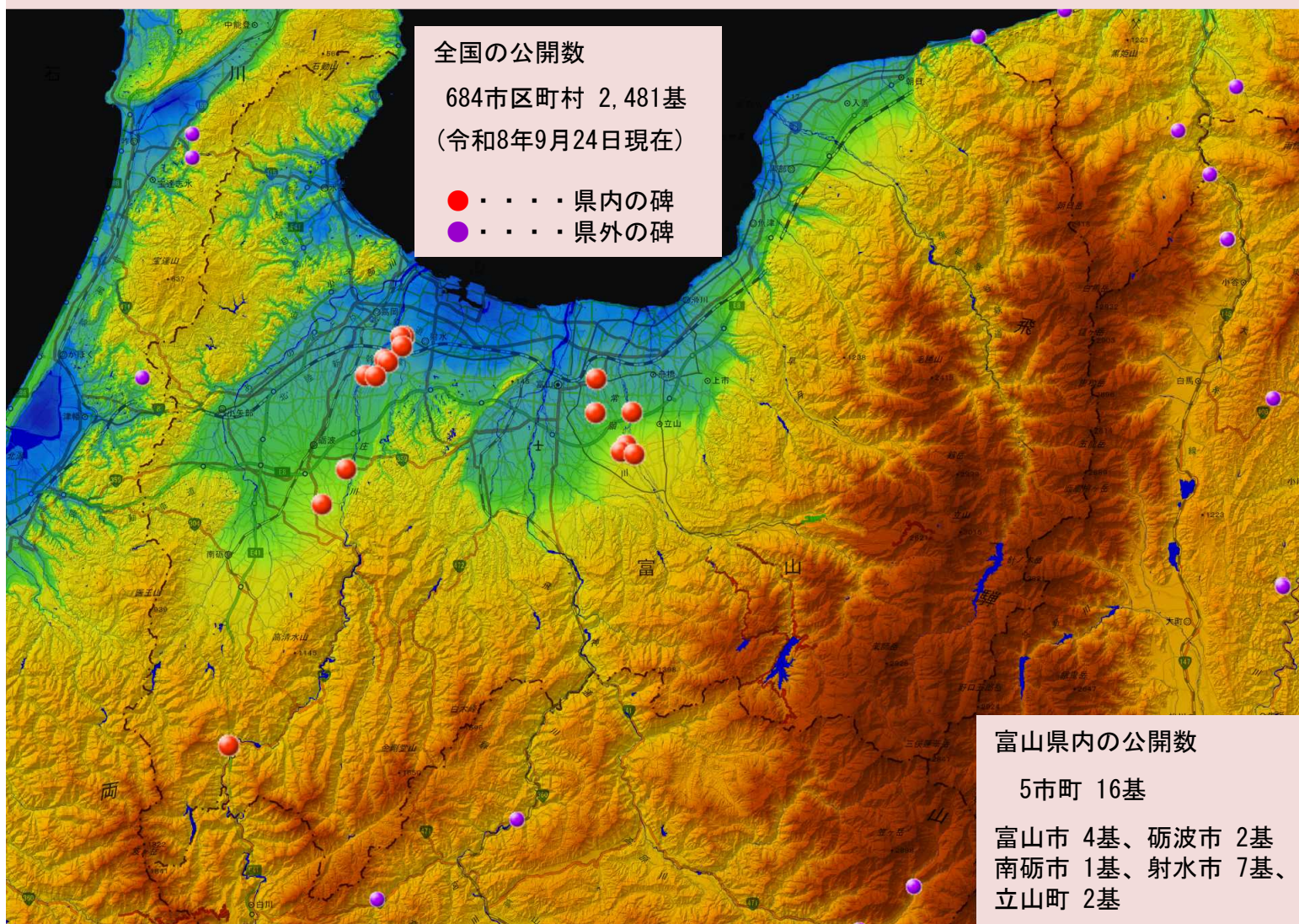


地図記号

※以前は、概念的に記念碑 [〇]（ある出来事や人の功績
などを記念して建てられた碑やモニュメント）に含まれていました。



自然災害伝承碑の分布



「自然災害伝承碑」の代表事例

中川原の大石

洪水・土砂災害・地震（富山県富山市）

中川原の大石	
概要	
碑名	中川原の大石
災害名	飛越地震 (1858年4月9日) 土石流 (1858年6月7日)
災害種別	洪水・土砂災害・地震
建立年	2019
所在地	富山県富山市中川原
伝承内容	安政5年2月26日(1858年4月9日)の飛越地震により、大岩・小岩山が崩壊し湯川を塞ぎ止め天然ダムとなり、同年4月26日(旧暦)に決壊。土石流となって巨石を押し流し大洪水となって常盤寺川下流の扇状地に氾濫した。この大石(重さ約5t)はその時に流されてきたと言われ、宅地開拓により西北西139mの場所から移動した。
制限事項	
ID:16201-004	

南無阿彌陀佛

(明治29年庄川出水犠牲者の碑)

洪水(富山県砺波市)

南無阿彌陀佛(明治29年庄川出水犠牲者の碑)	
概要	
碑名	南無阿彌陀佛(明治29年庄川出水犠牲者の碑)
災害名	洪水 (1896年7月21日) (1896年8月12日)
災害種別	洪水
建立年	1896
所在地	富山県砺波市庄川町萩21-1
伝承内容	明治29年(1896)7月21日、連日の豪雨によって二塚村(現高岡市)では堤防が決壊、橋の流失や浸水が発生した。二方石用水の取水堰も破損し、8月12日に堰の応急対策にあつた中、船が転覆し萩村(現砺波市)の2人が亡くなった。
制限事項	
ID:16208-002	